



▼ 新年明けましておめでとうございます。

昨年からの大雪で大変な新年を迎えることとなった2013年、除雪・寒さで体調は崩していませんか？昨年末には安倍総理大臣が2度目の登板に決まり新年早々アベノミクスで大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略の3つの基本方針を発表し意気揚々としているところで、また旧自民党の諸悪族議員の復活である。前途多難な安倍政権日本丸は何処へ。

お寒い気候と政治はさておき、当協会は今年もシーズンオフから精力的に活動して参ります。

まずは2月9日 JSAFから講師を招きルール講習。当日午後6時より新年会。翌日は恒例となっているスキーツアー皆さん老体に鞭打って参加されております。

あとふた月もすると上架作業が待っております、今年の前定は前期が3月31日～4月21日後期が4月21日～5月12日となっております。

まだまだ寒い日が続きますので体調管理には十分注意してください。

▼ 沖縄から函館へ ヨット<マイウェイ>の航海 Vol 2

5月2日(月) 曇り 宝島→悪石島 やすら浜港

8:00出港。北の風3~4。前日の強風で風向計の矢ばねが吹っ飛び風向計が使用不能になってしまった。致命的なトラブルではないが少々不便だ。入港前、ジブをファリングしたところスプレッダーにリーチが引っ掛かりリーチ部分を大きく破く。何度も修理しながら使っていたがもう寿命かな。太平洋を往復したセールだからね。14:30やすら浜港に到着。着いたとたん、漁船<みさき>からビンチョウマグロのシビを、<光盛丸>からカツオを頂く。うれしいけれど、これらの調理でくたくたになってしまう。敗れたジブを外し予備のジブと交換する。

5月3日(火) 雨 やすら浜港

昨日頂いたマグロは刺身、てこね寿司、煮付け。カツオはたたきと煮付けにする。生まれて初めて作ったたたきだが我ながら美味しくできた。7時30分、強烈な雨が降ってきた。夕方、やっと小降りになったので温泉へ。

5月4日(水) 曇り後雨 悪石島→口之島 西之浜港

カレーライスを食べ出港。朝食はたいていカレーライスかお茶漬けで済ます。カレーといってもレトルトである。自分で作る気は全くなしだ。その理由、鍋を洗うのが面倒、ガスをたくさん使う、時間がかかる、余ると困る、等等。風向が悪くメインのみで機帆走。諏訪之瀬島の沖で火山灰をかぶる。諏訪之瀬島の最高峰御岳(799メートル)山頂からは噴煙が上がっている。見る見るうちにデッキに灰色のしみが付きだした。このあたりの島はほとんどが火山島なのだ。14:00入港。ここも漁船2隻のみ。ガラーンとした港

だ。夕食はカツオのたたき。ここ数日、カツオとマグロのオンパレードである。

5月5日(木) 雨後曇り 西之浜港

悪天候のため停滞。朝食、焼き鶏の缶詰を使った親子どんぶり。昼食、インスタントの長崎皿うどん。今日は私達の結婚記念日である。まず体をきれいにしようとしてコミュニティセンターの風呂へ。「ゲッ、お湯が入ってない！」一番先に行った人が湯船にお湯を入れるのがしきたりだという。「そんなこと聞いてないぞー」入浴できるまで時間はかかったが一番風呂は気持ちがいい。次は記念日のごちそう作りである。由美子が腕をふるってちらし寿司を作る。隣に停泊中の漁船からはカツオを頂く。地元の漁師、中村氏が「屋久島の塚田氏からたのまれた」と焼酎のプレゼント。超豪華で思い出深い結婚記念日になった。

5月7日(土) 曇り 西之浜→屋久島 一奏港

ようやく天候が回復した。7:00出港するが、港を出たとたんいきなりチョッピーで大きな波。しばらくの間機帆走でしのぐ。島が遠ざかるにつれ波はおさまってきたが、あの波の悪さは潮のせい？岸近くの瀬のせい？またはその両方が原因か。とにかく凄い波だ。14:30入港。塚田氏と半年ぶりの再会をする。

5月9日(月) 曇り 屋久島→鹿児島県 山川港

楽しみにしていた硫黄島はパスし、台風避難のため一気に山川港へ向かう。東の風7ノット~12ノット。もうひと吹きほしいところだが、波が小さくまああのコンディションだから許す。ボートスピード、4~5ノット。途中、ホンダワラがプロペラに絡み、潜ってはす。一潜りで完了だ。15:30入港。漁業取締船用のポンツーンに舫う

5月11日(水) 雨時々曇り 山川港

台風が接近中なので今日もここに停泊だ。昼前、山川のヘルシーランドで入浴しレストランで昼食。たまの贅沢である。由美子はカツオづけ定食、基衛はトンカツ定食だ。帰り道「いお海道」に寄る。由美子はゆっくり買い物。私は先に帰り、バースに横になっていたところ、突然、由美子のうめき声が聞こえてきた。あわててとび出す。横抱きさせてもらっている<宝丸>の甲板に由美子が仰向けに倒れている。岩壁から乗り移る際、甲板に置かれているフェンダーに乗ってしまいフェンダーが転がったはずみで後ろにひっくり返って後頭部を給油船のガンネルにぶつけたようだ。びっくりするほど大きなたんこぶが出ているのだ。意識はあるし自分で歩くことはできるがただごとではない。隣に係留している漁船<佳苗丸>から車を借り国立病院へ走る。☒ 医師の診察の後、CTをとる。命にかかわるようなダメージはないが2か月くらいは注意深く様子を見るようにとの診断だ。「どうしてフェンダーなんかに乗ってしまったんだろう」と由美子は反省しきりである。<佳苗丸>からは「いつでも車使ってもいいよ。」と昨日から言われていたし、大きな病院が近くあることも、その場所も知っていたし、とにかく運が良かったと思う。これからもどんなことが起こる